

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	人口誘導・定住促進における市のPR等について
日 時	平成29年11月1日(水) 13時00分～14時20分
場 所	第3会議室
出席者	伊賀広報アドバイザー 市長公室参事 総合政策部副参事 企画課長及び同課職員2人 ひらかた魅力推進課長及び同課職員3人 広報課長及び同課職員1人
主な意見	<p><人口誘導・定住促進における市のPR等について></p> <p>*人口動態等の分析及び今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高槻や豊中など北摂を選ぶ人たちは、最終的な居住地という決心をして移った人が多い印象を受ける。枚方市は最終的な居住地として選ばれていないのでは。 ・通勤の便を考慮して大阪市に転出する人が多いと思うが、枚方市は淀屋橋駅まで20分と実はアクセスがよい。PR不足で京阪ユーザー以外に知られていないのではないか。 ・人口減少が進めば、人々は駅前にしか住まなくなってくるのでは。駅周辺の再開発では、商業施設だけでなく住宅供給についても検討し、まちの魅力を高めていく必要がある。 ・子育てのしやすさに関する条件として、保育所に入れなかった際のサポートがあれば住居選択が違ったものになるのかもしれない。 ・枚方市には大学が多くあるので、市民に開かれた大学があるまちのイメージを打ち出してはどうか。 ・枚方に転入してきた人、枚方市から一度転出した後再度転入してきた人、枚方市に長く住んでいる人の3タイプに分け、それぞれにどのような施策ができるか検討してはどうか。 ・世帯構成毎にグループインタビューを行い、生の声を聴く機会を持ってみては。その際には、他市との比較ができるよう、転入者や転出者から対象者を抽出するのがよい。 ・「人口を増やすため」と「税収を増やすため」とでは考えるべきことが違う。市の方向性を再度確認したうえで施策を検討すべき。
事務局	市長公室 広報課